

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日					
放課後等デイサービス ピクニック		2025年 3月 14日					
		チェック項目	はい	いいえ	どちらでもない	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	0%	定員に対する支援室のスペースは十分な広さを確保しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	83%	17%	0%	適切な職員配置数となっています。また基準以上の職員を加配しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	0%	日常的に車椅子が必要な子供が多く利用しています。室内通路は広く2台同時に通っても問題はありません。また子供達の目線や車椅子の高さに合わせ、可動式のテーブル準備する等、様々な場面を考えながら障害に配慮した施設となっております。	障害の程度によっては、自分で動く事が難しい子供もいます。自分で動ける子供との活動スペースについては安全面等に配慮が必要かと感じます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	0%	開所前には必ず室内清掃を行っております。また室内の各所にはアルコール消毒液を準備しており、清潔保持に努め感染症対策を行っています。季節に応じた空調管理や空気清浄機、加湿器を設置しており室内環境への配慮を行っております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	0%	状況に応じて使用できる個室を準備しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	50%	33%	17%	定期的に職員ミーティングを行い、業務改善等を話し合っています。	目標設定をしているが、振り返る頻度が少ないのが課題です。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	83%	0%	17%	評価表の結果を元に職員間でミーティングを行い、意向等の把握に努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	83%	0%	17%	職員間でミーティングを行い意見交換を行っています。	ミーティングに参加出来なかった職員については、申し送りノート等により、話し合った内容を把握します。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	100%	0%		第三者による外部評価を受けていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	83%	0%	17%	月に一度、施設内勉強会を開催しています。外部研修についても、来場型やオンライン研修を受講し資質の向上を図っています。	職員の資質向上や支援の質を高められるように、研修が受講できる機会を積極的に増やしていきます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	67%	17%	17%		広く周知していく事が課題です。3月にホームページ上で公表予定となっています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	83%	0%	17%	定期的なアセスメントの実施や日頃の支援の様子等を伝える場面で、課題やニーズ等把握に努めています。その内容をもとに計画作成に取り組ませていただいています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	83%	0%	17%	支援会議の中で、様々な課題等を把握し、意向等に沿えるよう計画作成について検討が行われています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	83%	0%	17%	個々の計画ファイルを作成し、支援に関わる全ての職員が何時でも確認できる環境となっています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	67%	17%	17%		主にインフォーマルアセスメントを行うことが多いです。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	67%	0%	33%	ガイドラインを理解し、計画作成に必要な支援項目に沿って支援内容を設定しています。	放課後等デイサービスガイドラインを深く理解し、各項目の支援内容が適切に設定できるよう作成に取り組みます。

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	0%	定期的にミーティング機会を設けています。子供達が楽しく、わくわくできるような活動プログラムが提案できるよう、広く意見を求めチームとして立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	0%	療育活動は、固定化しないよう(SNSや介護の雑誌などを活用して)年齢、特性など子どもに合わせて検討しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	0%	学校放課後や休日といった利用状況も含めて計画作成をおこない、個々の課題に向き合い個別・集団活動を組み合わせて支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	83%	17%	0%	当日の支援・活動内用等について事前に職員間で打ち合わせを行い、状況に応じて動けるように役割を確認しています。	子供の利用状況によってはミーティング機会を確保する事が難しいです。申し送り表での役割確認や留意事項を含め、各職員で把握する事が必要となります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	83%	17%	0%	支援終了後の翌日にミーティング機会を設けています。参加できない職員に関しては共通の申し送り表等を通して情報共有することになっております。	子供の利用状況によってはミーティング機会を確保する事が難しいです。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	0%	支援提供記録を毎回の利用時に記録しています。内容を基にモニタリング作成、及び支援会議を行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	0%	定期的なモニタリングを実施しています。モニタリング結果については保護者や職員で情報共有を行い、計画の見直しについて必要性を判断しています	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	67%	0%	33%	ガイドラインを基準とした支援に取り組んでいます。	コロナ禍以降、地域交流が難しくなっている。感染症予防に留意しながら検討を続けていきます。
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	0%	子供の状況や障害特性に応じた選択方法がとれるように、保護者と協力をしながら支援に取り組ませていただいています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	67%	0%	33%	基本的には児童発達支援管理責任者が出席していますが、支援に関わる全ての職員が子供の状況等を深く理解し、会議等に出席できるように取り組んでいます。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	67%	0%	33%	保護者の協力を得ながら、支援に関わる関係機関との情報共有、及び連携体制を整えております。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	83%	0%	17%	保護者の協力を得て、情報共有が行われている。	学校との直接的な情報共有（行事予定や送迎関連）は基本的にはありません。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	83%	0%	17%	就学前には訪問し、面談等をさせていただいております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	67%	0%	33%	法人内の障害福祉サービスへ移行するケースが多いので情報共有や支援方法等の助言が密に行われています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	50%	17%	33%	児童発達支援センター（佐賀県児童発達支援センター）の研修事業に参加をしています。研修の中で助言等を受ける機会があります。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	33%	33%	33%	長期休暇中は地域の学生を対象にボランティア活動の受け入れを行い、交流する機会を設けております。	感染症の状況を見ながら、交流活動を増やしていきたいです。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0%	67%	33%		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	83%	0%	17%	送迎時の申し送りや連絡帳、SNS等を利用しながら共通理解を図っています。	

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0%	50%	50%		専門性の高い家族支援プログラムの実施は課題となっております。今後は家族参加型の活動提案や福祉サービス等の情報提供を通して後方支援に取り組みます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	67%	0%	33%	契約・重要事項説明書にて説明を行います。運営規定等の変更が生じた場合には、その都度説明をさせていただきます。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	67%	0%	33%	支援会議や個人面談の際に意向調査を行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	83%	0%	17%	計画作成後は支援内容等の説明を行います。不明な点等に対し、一つ一つ丁寧に説明させていただきます。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	0%		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	0%	67%	33%		父母の会の設置はありません。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	83%	0%	17%	苦情対応の体制整備を図り、施設全体で対応を行っています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	50%	17%	33%	現在、紙媒体やホームページ等で活動等を報告しています。行事予定や連絡関連についてSNSを使用し情報共有を行っています。	現在の方法では、発信できる情報量が限られてしまします。施設内での様子や活動報告等、幅広く発信していければと考え、4月よりInstagramを始めようと考えています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	0%	鍵付きの部屋で管理しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	0%	一人一人のコミュニケーション方法に合わせて、意思疎通や情報伝達ができるように心がけています。（絵カード、コミュニケーションツール等）	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	17%	50%	33%		コロナ禍以降、活動が難しい状況です。現在は感染対応を徹底しながら、ボランティア活動や実習生の受け入れ等を行い、地域に開かれた事業運営に取り組んでいます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	83%	17%	0%	マニュアル整備を行い、各テーマに沿って定期的に訓練を行っています。実施にあたっては保護者へ事前に周知し、利用児童への参加をお願いしています。	訓練に対する評価を行う必要があります。また評価を基に、適宜マニュアルの見直しをしていく必要があります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	83%	17%	0%	BCPの策定、及び職員への周知を行っています。	必要な訓練は実施していますが、回数としては少ない状況です。様々な災害に対する対応を想定し、継続的に訓練を行っていきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	0%	契約前や利用開始後の定期的な面談を通して、情報収集を行います。その情報に関わる職員へ周知し、適切な支援に取り組んでいます。必要な場合は主治医からの意見書等をお願いする事があります。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	0%	必要と判断した場合には主治医より指示書をいただく事があります。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	83%	17%	0%	安全計画を策定し、計画のもと各テーマに沿って研修や訓練を行います。	評価を行いながら、計画や訓練内容の見直しを図ってまいります。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	83%	17%	0%	緊急連絡先等、情報提供への協力をいただいております。	計画内容の説明については不十分な所もあるので、周知すると共にいつでも閲覧可能な場所での管理を行います。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	83%	17%	0%	法人内回覧を行い、情報共有をしています。	件数が少ないです。ヒヤリハットの重要性について広く説明し、再発防止に向けた取組を継続してまいります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	0%	適宜、施設内研修や外部研修に参加しています。	

	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	0%	支援会議で拘束の必要性を検討し、保護者への説明・同意を得て計画への記載をしています。また拘束が必要な場合には拘束した時間や状況について記録を取り、会議にて必要性の検討が行われます。	
--	----	--	------	----	----	--	--